

1. 件名：試験研究炉施設を対象とした重要度評価手法の整備に関する面談（3）

2. 日時：令和5年12月26日（火）14：00～15：00

3. 場所：原子力規制庁 2階会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 検査グループ 核燃料施設等監視部門

金子統括監視指導官、小澤企画調査官、平野主任監視指導官、鈴江管理官補佐、
福永原子力運転検査官

熊取原子力規制事務所 大東所長

日本原子力研究開発機構 安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部

施設保安管理課 課長 他26名

東芝エネルギーシステムズ（株） 原子炉技術担当部長 他1名

（国）東京大学 原子炉本部 助教 他1名

（学）東京都市大学 原子力研究所 品質マネジメント管理責任者 他1名

（学）立教学院 立教大学原子力研究所 所長

（国）京都大学 安全管理本部長 他2名

5. 要旨

（1）11月13日の面談での原子力規制庁からの依頼に基づき、面談に先立ち、試験研究用原子炉施設の設置者（以下「設置者」という。）から簡易的な事例による検証を踏まえた意見が提出された。

（2）原子力規制庁から、提出された意見に対する見解等について、資料1に基づき説明し、設置者に対し、今後の事例検討会に向けた簡易評価フロー（案）の検証に用いる事例の提出について、協力を依頼した。

（3）設置者から、本日の説明により、検査気づき事項に対するスクリーニングや検査指摘事項に対する重要度評価の考え方についての理解が深まったこと、これを踏まえ、事例検討会に向けて簡易評価フロー（案）の検証に用いる事例を提供する旨の回答があった。

6. 配布資料

資料1：試験炉 SDP 評価に係る第2回意見交換会資料